

製造請負優良適正事業者認定制度
(GJ認定制度)

好事例集

[2025年度版]



製造請負事業改善推進協議会

(事務局:一般社団法人 日本BPO協会)

2025年度 製造請負優良適正事業者 認定事業者一覧(50音順)

2025年11月1日現在

株式会社アクティ	サンヴァーテックス株式会社	日総工産株式会社
株式会社アバンセコーポレーション	株式会社サンキョウテクノスタッフ	株式会社日本ケイテム
株式会社イー・オー・シー	株式会社三幸コーポレーション	株式会社早川工業
株式会社イカイインダストリー	ジェイティプラントサービス株式会社	株式会社ヒューマンアイ
株式会社イカイコントラクト	株式会社シグマテック	株式会社平山
株式会社イカイプロダクト	株式会社ジャパンクリエイト	フジアルテ株式会社
株式会社ウィルオブ・ワーク	株式会社セントラルサービス	株式会社フジワーク
株式会社ウィルテック	株式会社総合プラント	株式会社プロテクス
株式会社エイジェック	株式会社塚腰サービス	マルアイユニティー株式会社
株式会社エー・オー・シー	株式会社テクノクリエイティブ	ミライク株式会社
株式会社カインズサービス	テクノセンター株式会社	株式会社ワイズ
川相商事株式会社	東洋ワーク株式会社	株式会社ワークスタッフ
株式会社クリエイト	株式会社トーコー	株式会社ワールドインテック
株式会社グロップジョイ	株式会社トータルマネジメントビジネス	

※認定の有効期間は3年間。更新審査あり。

過去の好事例は、パソコン・スマホから
「GJ認定制度 好事例集」で検索！

GJ認定制度 好事例集

検索



制度の趣旨

製造請負優良適正事業者認定制度(GJ認定制度)は、適正な請負体制の推進、雇用管理の改善を実現するための管理体制・実施能力が認められた請負事業者を「優良適正事業者」として認定するもので、厚生労働省により創設された制度です。「製造請負事業の適正化と雇用管理改善の推進」と「製造請負業界の市場競争の健全化」の実現により、労働者の福祉の向上と発注者の製造業務の長期的な質的改善につなげることを目的としています。

審査基準

経営方針

- 1 方針等の明示
- 2 方針等の周知
- 3 「非常時」の危機管理
- 4 派遣と請負の区分基準関連

ものづくり力

- 1 活動組織
- 2 ものづくり力の具現化
- 3 事前確認・必要資格
- 4 「事業所責任者」の配置
- 5 「工程管理等責任者」の配置

ひとづくり力

- 1 「キャリアパス」の明示とキャリアコンサルティング
- 2 「職業能力開発」
- 3 能力評価

労働者保護

- 1 労働保険・社会保険の適用
- 2 雇用関係の確保
- 3 個人情報の保護体制
- 4 労働安全衛生の取り組み
- 5 ワークライフバランスへの配慮
- 6 相談・苦情処理の体制
- 7 法令の周知

製造請負
なんでも相談室

オープン!!



請負・派遣事業者、メーカー、スタッフの方、
どなたでもお気軽にご相談ください。

直通電話



03-6809-1054

受付
時間

9:00~17:45

※土・日・国民の祝日を除く

FAX

03-6721-5362



kyogikai@yuryoukeoi.info

受託者事務局 一般社団法人 日本BPO協会

〒105-0004
東京都港区新橋4-5-1
アーバン新橋ビル9F03-6721-5361
FAX 03-6721-5362専用公式
サイト<https://yuryoukeoi.info/>

CONTENTS

- | | | |
|---|---------------|--|
| 1 | 誠実をもって信頼の輪を | 「人を育て 人を活かす」、人的資本の投資で顧客満足を向上
日総工産株式会社 |
| 3 | 基軸となる「人」と共に成長 | 優秀な人材による質の高いサービスを追求・提供
株式会社グロップジョイ |
| 5 | 生産変動に柔軟に対応 | 「企業は人なり」、社員全員の安全・安心・キャリア形成に注力
株式会社ジャパンクリエイト |

- 好事例集について

これから認定を取得する事業者の参考となるよう、認定事業者の取組内容や工夫点、今後の課題などの紹介を行うとともに、認定取得による社内の変化や営業上のメリット、発注者からのポジティブな反応があった事例など認定取得による副次的効果を周知することで、認定制度の普及・啓発を推進する。

きじつ 誠実をもって信頼の輪を

「人を育て 人を活かす」、 人的資本の投資で 顧客満足を向上

社 名

▶ 日総工産株式会社

本 社 ▶ 神奈川県

主な請負事業

▶ 電子部品、住宅建材、半導体装置

初 回 認 定 年 度
2010年認 定 回 数
5 回

付加価値の高いサービスを提供できる人材の育成に注力 専門性の高い技能や技術を身に付け、変化する社会で活躍

創業理念である「人を育て 人を活かす」を前面に、社会・産業構造の変化に対応した付加価値の高いサービスを提供できる人材の育成に注力し、現場の生産性や競争力をより高めることを目指します。

人的資本に投資することで顧客満足を向上させることを主眼におき、「育成→仕事の質→顧客満足向上→業績向上→人的投資」のサイクルを回し、人・組織のパフォーマンスをスパイラルアップさせていきます。また、育成においては「成長とエンゲージメントの向上」「多様な社会変化に対応」「主体性および挑戦意欲の醸成とキャリアビジョンの実現」——の3本柱を軸に教育を提供。付加価値の高い人材を育てるため、教育訓練施設であるテクニカルセンター、トレーニングセンター、テクノセンターを全国9カ所に設置しています。

教育訓練施設で共通のコンセプトを基に実施する育成方法は、現場における実践を重視し、実技を通して知識を知恵に変えていきます。また、質の高い教育研修には講師陣の充実が不可欠であることから、継続的な人材育成体制の構築に向けた社内インストラクターの育成も展開。多様な人材が、専門性の高い技能や技術を身に付けることで変化する社会で活躍でき、顧客と請負社員双方の満足度向上につながっています。その誠実な日々の取り組みが、製造請負で重要な生産管理・品質管理・改善活動・安全衛生活動を磨き上げ、顧客にとって最適なサービスを提供しています。

充実した設備の教育訓練施設を保有、実践型で成長 メーカーOBがカリキュラムづくりに協力、即戦力人材を育成

全国9カ所に設置された独自の教育訓練施設は、それぞれに特徴があります。「テクニカルセンター」では、自動車や半導体の製造に関する汎用的な知識・技術を学べます。例として宮城県栗原市にある施設では、クリーンルーム内に設置した半導体製造設備の実機を使ったエンジニア研修を展開。設備技術や生産技術、設計技術の技術教育など、ものづくりに必要な基礎知識と技能を総合的に習得できます。また、熊本県大津町にある施設では、半導体を代表とする電子デバイス分野を支える技術エンジニアの育成拠点として、最先端の半導体製造装置を使った訓練を行っています。

「トレーニングセンター」では、顧客の専門的な業務に合わせた研修を実施。自動車向け専門技能教育を行い、自動車工場への配属前教育を中心とした教育訓練を実施しています。一部の施設では実際に製造現場で使用する装置を準備し、配属後に戦力になれるよう育成しています。さらに、メーカーOBの協力を得てカリキュラムを作成し、安全管理やオペレーターにおきやすい腱鞘炎を予防するストレッチなども指導しています。

本社を置く神奈川県横浜市には「テクノセンター」があり、新入社員からマネージャーまでを対象に、座学を中心としたグループ研修やキャリア形成研修などを通じて、継続的な成長を支援しています。

01 社員の安全と健康を確保、快適な職場環境づくりを重要課題に掲げる 安全衛生委員会と事業場ごとの同委員会を設置、災害を未然防止

社員の安全と健康を確保し、快適な職場環境づくりを経営上の重要課題のひとつに挙げています。「労働安全衛生方針」に則して、安全体制の構築、管理・活動の実践、改善を継続することで、災害リスクの低減と職場の安全衛生水準の向上を図っています。具体的には、安全と健康を確保するため、安全衛生委員会と事業場ごとの同委員会を設置、月1回開催して労働災害や健康障害の防止などの審議と情報共有を展開しています。豊富な経験に基づく独自のマネジメントシステムの仕組みを導入し、労働災害・交通事故ゼロの実現に向けて全社的な活動計画を策定、安全衛生活動のPDCAサイクルを推進しています。事業場ごとに安全衛生目標の設定と計画を策定し、実施・点検・改善・評価までのサイクルを定着させています。



02 製造現場で求められる人材育成の仕組みと体制を整備 多彩なキャリアにチャレンジできる仕組みを整えサポート

弊社は創業50年以上の経験と実績を活かし、製造現場で求められる人材育成の仕組みを整えています。現場の運営管理力の強化（マネジメント強化）と、現場で求められる技能・技術の強化（テクニカル強化）の2軸に重点を置き、現場での実践を踏まえた教育体系を構築。「新入社員研修」では、社会人としての基本的知識

だけでなく、ものづくりの基礎知識も身につけるプログラムで弊社社員としての下地を形成していきます。職種やコースによっては、追加で専門研修を設けるケースもあります。「技術研修」では、3次元CADソフトを活用した訓練を行うことが可能です。未経験者の育成実績も多数あり、しっかりとフォローする体制を構築しています。また、多彩なキャリアにチャレンジできる仕組みも整え、一人ひとりが思い描く理想的なキャリアを実現できるよう、研修プログラムや定期面談を通じてサポートしています。



03 長年の実績で培われた「改善の文化」、生産性が飛躍的に向上 品質管理につながる検定や、自主保全士の資格取得を推進

弊社には、長年の実績で培われた「改善の文化」があり、電子部品の請負職場では、作業方法や意識の改善が作業効率の向上や作業ミス低減につながって生産性が飛躍的に向上した事例もあります。こうした各事業場で見つかった改善の好事例が、横展開によって共有され、全体のレベル向上につながっています。「品質第一」を掲げて製造業務に取り組んでいる弊社は、品質教育や品質を「見える化」することで、平素の業務のなかで品質管理を実施しています。改善事例報告会を開催し、意識やモチベーションの向上を図るとともに、エキスパート実践ゼミでは自主的に職場の改善点などを研究したり、改善を実践することで職場の生産性を高めています。また、品質管理につながる検定や、自主保全士の資格取得を推進して多面的な支援体制を整えています。



Message

日総工産株式会社 代表取締役社長執行役員 藤野 賢治

人の力で日本の製造業とともに歩み、現場に寄り添いながら、変化する社会や産業構造に対応してまいりました。近年ではオートモーティブ、セミコンダクター、エレクトロニクスという3つの産業に焦点を絞り、それぞれの産業の中で共通する課題解決に向けたサービスを提供する「インダストリー戦略」を展開しています。この戦略の中で得た技術とノウハウを基に、日本の製造業を支える力であり続けることを目指します。



所 在 地 ▶ 神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
T E L ▶ 046-476-4121
U R L ▶ <https://www.nisso.co.jp/>

きんぎょ 基軸となる「人」と共に成長

優秀な人材による 質の高いサービスを 追求・提供

社 名

▶ 株式会社グロップジョイ

本 社 ▶ 岡 山 県

主な請負事業

▶ 電気・電子部品、自動車、医薬部外品、各種BPO等

初 回 認 定 年 度
2012年

認 定 回 数
5 回



「GJ認定」は取り組みを評価してもらえる制度と捉えて取得 製造受託サービス「持ち帰り請負」が生産の柔軟性提供のカギ

グロップは岡山県に本社を置き、DM発送・教材封入業務を前身に成長。培ったノウハウを活かし、2001年に製造業務を軸とするグロップジョイが誕生しました。「製造がわかる」人材会社として実績を積み上げ、業種では電気・電子をはじめ、食品、倉庫・物流加工、特殊素材の製造を幅広く担っています。工場内請負では「ライン請負」などだけでなく、生産管理・資材管理・品質管理をはじめ、労務管理に至るまでトータルで展開できるといった特徴があります。そうした中で「GJ認定」は、自社の平素の取り組みをチェック、評価してもらえる制度と捉えて2013年に挑戦し、取得後は更新を重ねて実績を上げています。

多種多様な業種のニーズやケースに柔軟かつ臨機応変に対応することをモットーとしており、それを実現している手法のひとつが自社センターで行う製造受託サービス「持ち帰り請負」です。発注メーカーの生産現場での請負業務に加え、一部の工程を自社センターに「持ち帰る」ことで、幅広く最適な生産に導くことができます。また、弊社が掲げる「優秀な人材による質の高いサービス」を生み出している源泉がME（マネジメント・エキスパート）の存在です。MEは現場スタッフの教育・労務管理を行う専任者で、請負社員の業務面・精神面においてきめ細やかなケアを行っています。

あらゆる場面で最適な解を提案できる請負会社に成長 日常業務の中で高い倫理観を持ち「当たり前」を追求

グロップジョイは派遣事業で「人材マネジメント力」、持ち帰り請負事業で「生産管理能力」を高めてきました。25年の歩みにおいて、特定の分野や業種だけでなく、製造メーカー・物流サービスなど「異なる業種」で請負事業に挑んだことによって、様々な固有のノウハウを習得することができました。その「経験」と「実績」に磨きがかかり、あらゆる場面で最適な解を提案できる請負会社に成長しました。

発注企業からの信頼と満足度を向上させるには、「ひとづくり」が必要不可欠です。創業以来、現場責任者の育成やスタッフ教育など、高い倫理観を持って「当たり前」を追求してきました。日常の業務の中で「当たり前」の精神を根付かせたことがグロップジョイの自負であり、発注企業のパートナーであることを意識したスタッフマネジメントにつながっています。

一人ひとりの責任感ある行動が、職場の価値基準を高め、品質保証に結び付いています。このため、職場のモラル（道德感）・モラール（意欲）を重要視した取り組みを徹底。「ものづくり」に直結する5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）教育や安全衛生教育などの基礎的教育をはじめ、階層別教育や維持改善活動を通じて、発注企業のニーズに応え続ける人材育成を継続しています。

01 管理支援部門を設けて意識を向上、厳格なコンプライアンス体制 「教育・訓練担当」「事務局」「法務担当」の3本柱が全方位に機能

コンプライアンス体制の徹底に注力しています。請負社員が自ら自覚して行動することに加え、管理支援部門を設けて意識を向上。具体的には、社員教育やキャリア形成、工程管理者育成計画の策定、メンタルヘルスなどを管轄する「教育・訓練担当」、PマークやISO、各種手続きを管轄する「事務局」、労働局・労働基準監督署対応、安全衛生、内部監査などを管轄する「法務担当」の3本柱で構成しており、幅広く規則を守る働きかけを充実させています。また、安全衛生活動も大切にして、労働者の健康管理やストレスチェックなど、快適な職場環境づくりを心がけています。これらの実践を確かなものにするため、「GJ認定」をはじめ、優良派遣事業者認定（2017年）やプライバシーマーク（2014年認定）を取得して、3つの管理支援部門の機能を高めています。



02 職場環境の最適化を目指し、計画的な安全衛生活動に注力 ME（マネジメント・エキスパート）が心と健康をサポート



現場の請負社員と内勤社員が安心して働ける職場を提供するため、職場環境の向上に注力。生産現場での安全衛生活動もそのひとつで、「労災発生数0（ゼロ）」を宣言し、きめ細かな採用時の教育や安全衛生委員会の実施、産業医による労働者の健康管理、安全パトロール、リスクアセスメントの実施などに加え、不安全力所の改善、各種環境測定、ストレスチェックの実施を定期的・計画的に進めています。社員との定期面談も組み入れて、仕事に対する意欲の維持・向上にも意を用いています。ここで活躍するのが弊社がこだわる職種のME（マネジメント・エキスパート）です。MEの存在によって、社員は安心して業務に取り組むことができ、結果として質の高い技術やサービスを提供できる基幹となっています。

03 「モノづくりは人づくり」の精神を大切に、充実した教育プログラム 成長に応じて資格取得を支援し、現場全体の質とスキルを向上

「モノづくりは人づくり」の精神を大切に、社員の能力に応じた教育・研修や各種資格取得を推進しています。OJTを中心とした教育プログラムに加え、ステップアップ制度やキャリアパス制度を設けてモチベーションの向上に努めており、社員の成長を促し、意欲と活気にあふれる職場をつくることが重要な弊社の使命だと認識しています。資格取得推進では、「モノづくり」に欠かせない品質管理検定、生産能率士、第一種衛生管理者、有機溶剤作業主任者の取得を支援し、現場全体の質とスキルを高めています。社員研修にも力を入れ、入社時研修を皮切りに、成長に応じてリーダー研修、生産性向上の主要技術であるIE研修、品質管理基礎教育へと進み、さらに一段高みを目指して管理者研修や職長教育研修、レーザー設備安全教育などに挑んでもらい、人材力の強化に邁進しています。



Message

株式会社グロップジョイ 代表取締役 楠戸 正人

弊社の基軸は「人」です。社名は「GROW UP（成長）」と「JOY（喜び）」から名付けました。発注企業の成長に貢献し、「人」を通じて共に成長する喜びを分かち合いたいという思いが込められています。その実現に向けて卓越した「高品質・低コスト・短納期の追求」「さらなる満足度向上への挑戦」「変革のスピードアップ」を基本方針に掲げて実践。あらゆるステージでそのスペシャリストを目指しています。

GROPJOY

所在地 ▶ 岡山県岡山市東区中尾440
TEL ▶ 086-208-3666
URL ▶ <https://www.gropjoy.co.jp/>

きんぎょ 生産変動に柔軟に対応

「企業は人なり」、社員全員の安全・安心・キャリア形成に注力

社 名

▶ 株式会社ジャパנקリエイト

本社 ▶ 大阪府

主な請負事業

▶ 輸送用機器、電子・電気機器等

初回認定年度
2010年認定回数
5回

「GJ認定」初年度取得、自負と責任を持って選ばれる会社に「見える化」の促進で定着率と生産性が向上、適正な評価が基本

製造請負優良適正事業者の認定制度がスタートした2010年度に取得し、以来15年間にわたり「GJ認定事業者」として更新を重ね、実績と信頼を築いています。業界の差別化につながる契機となった認定制度は、外部評価に基づく健全で高いレベルの製造請負事業者の証（あかし）です。その名に自負と責任を持って、「ものづくり力」と「ひとづくり力」に磨きをかけています。

現在、請負現場は全国に28事業所で展開しており、主力は輸送用機器や電子・電気機器、物流関連です。「企業は人なり」を理念に、社員一人ひとりの安全・安心・キャリア形成に注力。認定事業者であり続けることで、発注企業からの信用が実感できて現場の請負社員の士気が向上しており、併せて内勤社員の労働関係法令やコンプライアンスに対する意識と知識、理解力も高まっています。「GJ認定」は請負事業の「見える化」を促進させる効果もあり、「ひとづくり」の観点で言えば「適正な評価と待遇が得られる」ことで定着率と生産性が向上。人材を財産に、働く人と発注企業の双方から「信頼と信用で一番に選ばれる会社」を目指しています。

社員の将来性を見据えた全社を挙げた「ひとづくり」の体制構築を基本とし、社内内外の教育受講継続や資格取得継続の支援ほか、定期的な評価制度によって昇給昇格が適正に運用される仕組みを整えています。

「機械保全トレーニングセンター」を創設、実践型のキャリア支援「人財尊重」を柱に多様な人材を柔軟に受け入れ、組織力を強化

働く人の環境整備とキャリア形成にこだわりを持って取り組んでいます。環境整備としては、社員の安全を第一に捉え、業界で初めて「労働安全衛生マネジメントシステム」の国際規格であるISO45001を取得。社会に必要とされる会社になるため、製造請負事業を通じて何ができるかを考え、安全への取り組みを確実に継続しています。

キャリア形成の面では、フォークリフトの乗車資格を取得できる「フォークリフト教習センター」の自社運営を展開。加えて、「機械保全トレーニングセンター」を創設して、実際の半導体製造装置を利用した実技教育ができるキャリア支援を進めています。未経験者から熟練者に至る幅広い層を対象に、教育目的や時間などに応じたプログラムを組み立て、請負社員に限らず、発注企業の社員の受講も可能にしています。こうしたキャリア支援に投資することで、製造現場で必要とされる実践的な設備保全エンジニアを多数輩出しています。

発注企業の製造工程の一角を担う請負事業者として常に心掛けていることは、「人財尊重」を柱に多様な人材を柔軟に受け入れ、個性を活かして組織力を強化。安心安全な職場環境の提供と健全な現場運営に重きを置き、「社員ファースト」を重視しています。その延長線上に、「任せられる請負会社」があるのだと確信しています。

01 高度な有資格者が講師を務める「機械保全トレーニングセンター」実機を使った実技研修を行うことで実践的な教育を提供



「機械保全トレーニングセンター」は「Tianma Japan（テンマジャパン）秋田工場」内にあります。機械保全メンテナンス人材の不足が深刻さを増す中、よりスキルの高い機械保全技能士のニーズが高まっており、2017年にスタートした「フォークリフト教習センター」に続き、人材の育成に努めています。階層別のスキルアップ教育を行い、実機を使った実技研修を行うことで実践的な教育を受けた社員の育成・輩出を目的としています。実際の工場設備を活用することで、座学だけにとどまらない臨場感のある実践的な講習を可能にしています。また、国家資格である機械保全技能士の特級または一級の有資格者が講師を務め、現役のベテラン有資格講師が研修生ひとりひとりの課題に向き合い、丁寧に指導しているのが特徴です。こうした育成を基に、チーム単位での機械保全請負も行っています。

02 「配属前研修」「企業社員研修」「キャリア支援研修」の3種類のカリキュラム研修の目的、到達目標などご要求に応じたカリキュラムを構成しご提案

2021年3月の開校以来今日まで約450名の皆様にご利用をいただきました。

その産業別も半導体、製薬製剤、車載電池、電子機器、自動車、食品等々多種に渡り機械保全初級から上級、PLC専門教育など受講ニーズに合わせて提案したカリキュラムの種類は40余りに及んでおります。

特にここ1年ほどは弊社スタッフの配属前研修、キャリア支援研修の実績をしのぎ、企業社員教育研修の件数が増えてまいりました。背景には企業内における社内教育施設の不足、教育を行う人材の確保難などが挙げられております。弊社ではそういったお客様の個別のニーズをしっかりと伺い目的とする教育をご提案しております。



03 職場のヒヤリハット報告や危険予知訓練を実施フィジカルとメンタルの健康状態の管理を徹底

「労働安全衛生マネジメントシステム」の導入で働く職場のリスクアセスメントに意を用いています。労働災害発生の起因となる職場のリスクを事前に摘み取る日常の活動が社員を労働災害から守ることになります。併せて、職場のヒヤリハット報告や危険予知訓練を実施しています。また、「健康経営優良法人2025」を認証しており、社員が気持ちよく活躍できるように心身ともにフィジカルとメンタルの両面における健康状態の管理を徹底。また、守秘義務を順守したキャリアコンサルティングを受けられるほか、「ヘルスサポートセンター」の窓口を設けて、あらゆるハラスメントや職場では相談できない悩みなどを24時間体制で対応しています。入社時に自己理解・他者理解・相互理解のための「コミュニケーションカード」を配布して、心の安全・安心も大切にしています。



Message

株式会社ジャパנקリエイト 代表取締役社長 加藤 智

「社会に喜びが満ち溢れ、多くの雇用が創出されていく未来を創りたい」という想いを込め、「Jobfullな明日を」というパーパスを掲げています。少子高齢化の中で女性・シニア・外国籍人材など、年齢・性別・国籍を問わず多様な人材がイキイキと活躍できるフィールドを創出。さまざまな社会課題に対し、自社のサービスを通じて前向きな解決策を提供し、日本経済の発展に貢献できるよう努力と挑戦を続けます。

所在地 ▶ 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-1
アーバス新横浜ビル5階

TEL ▶ 045-470-7778

URL ▶ <https://www.japancreate.net/>